



校長室より



令和7年 6月 4日

自分らしく生きる 豊かに生きる

No.8

病院に移動博物館が来てくれました

6月4日（水）、和歌山病院内のはまかぜ教室に今年も移動博物館が来てくれました。移動博物館は海南市の県立自然博物館が出前授業で来ていただいている取り組みです。毎年、昆虫の標本、アンモナイトや恐竜の化石（レプリカ）、キジやオシドリ、アナグマやテンなどのはく製、フグやナマコ、ヒトデ、カニなどの生き物などを持ってきました。子どもたちは直接見たり触れたりできる貴重な時間になっています。

和歌山病院に入院している1ブロックの子どもたちは、長い病院生活のため、自然の中で動物を観察する機会や博物館を訪ねることもほとんどありません。実際に、動物のはく製と直面したときに、つい目をそらせてしまうほどびっくりしています。おそろおそろ毛並みを触って、ほっと一安心。学芸員の方が、透明のボウルに、タコやカニなどを入れて見せてくれると、逃げ出そうとして動く生き物を観てまたびっくりしていました。水槽に入っているフグやカワハギのかわいい泳ぎはゆっくり眺めていましたね。

残念ながら体調のため、はまかぜ教室に来ることができなかった子どもは、リモートで博物館会場の展示を見たり、ベッドサイドへ持って行ける貝殻やアンモナイトなどを会場から借りて、先生方が見せに行ってくれたりしていました。

これからも本物体験、もっともっとやりたいですね。

